

## 4. 第10期計画策定に係る調査について 健康とくらしの調査について



加賀市健康福祉部介護福祉課

令和8年6月11日



# 健康とくらしの調査

## 《結果報告書より》

- 有効回答数 1,995件（回収率66.5%）

- 調査結果より（加賀市の特徴）

- ・【フレイル(※)あり割合】（報告書P9参照）

加賀市と同規模保険者(※)を比較した際、加賀市は(以下同じ。)

「70-74歳」、「75-79歳」で高く、「80-84歳」でとても高くなっている。

(※)健康な状態と要介護状態の中間に位置する状態

(※)調査に参加した64保険者のうち2025年度人口が5万以上15万未満の10保険者

- ・【運動機能低下者割合】（報告書P10参照）

「80-84歳」で高く、「70-74歳」、「75-79歳」、「85歳以上」でとても高くなっている。

- ・【1年間の転倒あり割合】（報告書P11参照）

「70-74歳」、「75-79歳」でとても高くなっている。

- ・【物忘れが多い者の割合】（報告書P12参照）

「65-69歳」で高くなっている。

- ・【閉じこもり者割合】（報告書P13参照）

「75-79歳」で高く、「85歳以上」でとても高くなっている。

- ・【うつ割合】（報告書P14参照）

「85歳以上」で高く、「70-74歳」、「75-79歳」、「80-84歳」でとても高くなっている。

- ・【口腔機能低下者割合】（報告書P15参照）

「75-79歳」で高く、「65-69歳」、「70-74歳」、「80-84歳」でとても高くなっている。

- ・【低栄養の傾向割合】（報告書P16参照）  
「65-69歳」、「70-74歳」、「75-79歳」、「80-84歳」で高くなっている。
- ・【認知機能低下者割合】（報告書P18参照）  
「80-84歳」で高くなっている。

## 【前回（2022年）調査と今回（2025年）調査の比較】

### ～ 調査の20項目（加賀市独自の調査項目を除く）中 ～ 割合が上昇（1%以上）した項目

- ・フレイルあり割合
- ・運動機能低下者割合
- ・閉じこもり者割合
- ・うつ割合
- ・要支援・要介護リスク点数
- ・通いの場参加者（月1回以上）割合

### 割合が低下（1%以上）した項目

- ・物忘れが多い者の割合
- ・幸福感がある者（8/10点以上）の割合

- ・赤字は改善した項目
- ・青字は要改善の項目

## 【加賀市独自の調査項目】

### 日々の生活の中で何か困りごとがあるとき相談できる人や窓口

- ・同居家族（69.1%）　・別居の子ども（47.9%）
- ・兄弟姉妹・親戚・親・孫（43.4%）　・近隣・友人（36.1%）
- ・こころまちセンター・社会福祉協議会・ケアマネジャー（18.3%）
- ・そのような人はいない（2.5%）

### 病気などで数年間の長期療養や介護が必要になったとき、 どこで暮らしたいか

- ・自宅や家族の家（39.4%）（※）
- ・老人ホームなど介護を受けられる施設（30.1%）（※）
- ・病院（18.6%）（※）

（※）（「自宅や家族の家」と答えた方）

### なぜそう思うか。

- ・住み慣れた場所で過ごしたいから（87.1%）
- ・自分の好きなことをしながら過ごしたいから（66.6%）
- ・家族との時間を多くしたいから（47.8%）

（※）（「介護を受けられる施設」「病院」）と答えた方

### なぜそう思うか。

- ・家族の身体的・精神的負担を減らせるから（81.6%）
- ・自分自身の身体的・精神的負担を減らせるから（51.9%）
- ・病状が急変したときの対応が心配だから（47.1%）

### 認知症について知っていること（50%未満の項目）

- ・感情やプライドは保たれている
- ・関わり方次第で症状が落ち着くことがある
- ・身内だけでなく自分のことも忘れてしまう
- ・頑固になるなど以前と違った性格になる
- ・残された能力を活かし、その人らしく生活することもできる

### 外出するときに利用している交通手段

- ・自動車（自分で運転）（72.4%）（※）
- ・徒歩（40.6%）
- ・自動車（人に乗せてもらう）（25.5%）
- ・路線バス（9.8%）
- ・のりあいタクシー（3.8%）
- （※）80～84歳 61.6%

### 「加賀市版ライドシェア」を利用したことがあるか

- ・聞いたことはあるが利用したことがない（70.5%）
- ・聞いたことがない（25.3%）
- ・1～3回程度利用した（0.2%）